

路線概要	3・2・1号	橋通線	区間番号	①			
計画決定工事番号及び年月日:	当初:	S21.8.3	最終:	H11.6.24	代表幅員(m)	36	
路線全体の概要	本路線は、中村東1丁目を起点とし、橋通り、花ヶ島町を経て北部の芳士までを連絡する延長約6770m、計画幅員16~38mの幹線道路である。 本路線は当初の都市計画決定は、昭和21年8月3日に橋橋北詰から旧住吉村境でなされ、昭和47年の変更により現在の区域となり、昭和56年の名称変更を経て現在に至っている。 起点部(中村東1丁目)から南花ヶ島町までの国道220号、国道10号と重複する区間(4230m)においては整備が完了している。					路線延長(km)	6.770
未着手区間の概要	本区間は、旧国道10号で、現在の国道10号宮崎北バイパスに平行する延長約2540m、計画幅員16mの区間である。 計画区域内に幅員約12m程度の、市道が走っている。					車線数	-
					未着手率(%)	37.5	
					区間延長(m)	2,540	
					計画幅員(m)	16	
					現道幅員(m)	12	
					評価区間内 家屋数	38	



定量的評価

①必要性に関する検討

1) 幹線機能の評価			
・上位計画等において必要性の高い路線か			
・宮崎市の主要な拠点や幹線道路を連絡する路線か			
・主要な交通施設への主たるアクセス路線か			
・主要な公共施設への主たるアクセス路線か			
	幹線機能の評価 合計	0	/30点
2) 交通機能の評価			
・将来の交通需要から整備の必要性が高い路線か			
・混雑緩和に寄与する路線か			
・代替する路線がない路線か			
・自転車・歩行者交通の需要が多いと考えられる路線か			
・公共交通の必要性の高い路線か			
	交通機能の評価 合計	0	/30点
3) 市街地形成機能の評価			
・まちづくり支援の観点から整備の必要性が高い路線か			
・分断地域をつなぐなど地域活性化等に寄与する路線か			
	市街地形成機能の評価 合計	0	/10点
4) 防災機能の評価			
・市街地の防災性向上の観点から整備の必要性が高い路線か (避難路・延焼遮断帯、若しくは消防活動空間としての機能向上が期待される路線)			
・風水害、地震災害、津波災害、その他災害時において重要な路線か			
	防災機能の評価 合計	0	/20点
5) 空間機能の評価			
・海や山、景観資源等への眺望確保や、都市の緑空間創出等、景観形成に寄与するか			
・市街地における住環境の改善等、都市環境の向上に寄与するか			
	空間機能の評価 合計	0	/10点

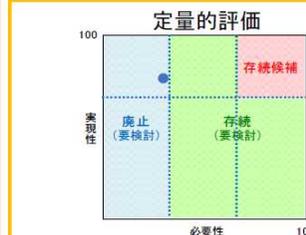
必要性に関する評価合計: 0 /100点

②実現性に関する評価

6) 構造上の制約・経済性に関する評価			
・物理的・地形的制約がないか			
・交通安全上、施工上の課題がないか			
・計画幅員変更の必要性がないか			
・補償物件の影響が低い			
	構造上の制約・経済性に関する評価 合計	0	/60点
7) 現況の土地利用に関する評価			
・移転困難な施設が存在しないか			
	現況の土地利用に関する評価 合計	0	/10点
8) 周辺環境への影響			
・歴史・文化財・景観・自然環境への影響がないか			
・地域を分断するなど街なみや地域コミュニティへの影響がないか			
	周辺環境への評価 合計	0	/20点
9) 地域の要望に関する評価			
・地元要望があるか			
	地域の要望に関する評価 合計	0	/10点

実現性に関する評価合計: 0 /100点

総合評価



定性的評価

定量的評価では廃止(要検討)となるが、防災上の必要性が高い場合など、考慮すべき事情を記載し、最終評価を行う。

総合評価: 廃止(要検討)候補